

「癒しの時間」(上岡)

以前よりも雪が減ったなあとは感じますが、一日の最低気温がマイナスになる日が増え、しっかり冬ど真ん中の日々ですね。寒さで身体が縮こまり、毎日使うパソコンやスマホで目や首、肩がガチガチ。寝る頃には目の奥がズーンと重たい…そんな日のお気に入りグッズを見つけたので、ご紹介♪ドラッグストアなどでよく見かける「あずきのチカラ」のアイピロー。これ、めっちゃいいです！シンプルに、あずきが中に入っているアイピロー。使うのに工程が面倒だとだんだん使わなくなったりしますが、これはレンジで30秒温めるだけ。目に乗せるとジワ~と目の周囲が温まり、あずきの重さも心地いいんです。感触が昔懐かしいお手玉のようで、ほのかに優しい小豆の香りがして、色んな意味で癒されます。寝る前に使うと、あずきが冷める前に深い眠りにつけちゃう日も多いです。色々忙しい日々ですが、こんなちょっとした癒しでリフレッシュできますよね！また何かオススメの癒しグッズがあればぜひ教えてください(^-^)/



知っところ! 「税」の マメ知識

今月のマメ知識：【経費にできる？グリーン車の利用料】

「通常とは異なる環境の出張は、肉体的にも精神的にも負担がかかります。そのため新幹線を利用する際は、グリーン車などを利用しても経費として認められるのでしょうか？」という質問がありました。グリーン車の利用料を経費として認めるかどうかは、会社の旅費規程と職務上の必要性によります。旅費規程があり、グリーン車などの利用が職務に必要とされている場合は、経費として認められるでしょう。旅費規程がない場合でも、グリーン車の利用が職務に必要と認められる範囲であれば、経費として認められることがあります。しかしながら旅費規程を定めておいたほうが、税務署とのトラブルを避けることができます。通勤の場合は、グリーン車の利用は通常の通勤手当の非課税規定には該当せず、給与課税される可能性があります。個人事業主においては、業務目的で利用した場合に全額を必要経費として計上できます。このような要件を満たすことで、グリーン車の利用料を経費として計上することが可能となります。



世界の偉人伝

今月の偉人：【サティ】

エリック・サティは19世紀後半から20世紀初頭に活躍した作曲家です。フランスのオンフルールに生まれ、10代でパリ音楽院に入学するもほどなく退学。ピカソやコクトーなど芸術家と親交を持ちながらピアノ演奏と作曲を続け、前衛的な音楽スタイルを確立しました。シンプルで反復的な旋律の「家具の音楽」は、現代のアンビエント音楽の先駆けとなりました。「音楽界の異端児」は私生活でも「白い食べ物しか食べない」と奇人ぶりを発揮。独自の美学とユーモアを貫いた人でした。

気軽に Let's 英会話

今月のキーワード：【number plate】

語呂合わせから、2月5日は「笑顔の日」です。車のナンバープレートも「2525」は人気のようです。ところで、この“number plate”はイギリス英語で、アメリカでは“license plate”といいます。英米を比較してみると「アクセル」は“accelerator”（英）と“gas pedal”（米）、「ボンネット」は“bonnet”（英）と“hood”（米）、「トランク」は“boot”（英）と“trunk”（米）などと異なりますが「ハンドル」は英米共に“steering wheel”で、どちらも“handle”とはいいません。



今月のトピック：【オフプライストア】

新品の商品を格安で購入できる「オフプライストア」が人気です。ディスカウントストアとの違いは、卸業者や小売店から売れ残りを仕入れるため、品ぞろえが幅広く激安品が多いこと。ファッションや家具ではハイブランドの掘り出し物が見つかること好評です。食品はフードロスの対策にもなり、サステナブルなビジネスとしても注目です。



オノの言葉

僕は学ぶことに情熱的だ
そして生きることに情熱的だ

アメリカの俳優、映画プロデューサーであるトム・クルーズの言葉。学ぶこと、知ること、気づくこと、触れ合うこと、そして生きること。すべてに情熱を注ごう。

お米と一緒に氷と蜂蜜を入れて、いつも通り炊飯するとおいしいご飯が炊けます。氷で炊飯釜の水が冷やされると、お米の粒立ちがよくなります。蜂蜜の保水効果でご飯が冷めてもボソボソの食感になりにくく、消化酵素でご飯の甘みがアップしますよ。

知得する知恵代表

振り向けばあそこにも「商売のヒント」 ここにも

今月の商売のヒント：【商売を素晴らしくする方法】

「キング・オブ・ジャズ」とたたえられたルイ・アームストロング。通称「サッチモ」で親しまれていた彼の『What a Wonderful World (この素晴らしき世界)』は発売から50年以上経った今でも名曲として愛されていますが、SNSでこんなコメントを読みました。「もともといい曲だと思っていたけれど、サッチモが生きていた時代や彼の境遇を知った上でこの曲を聴いたら100倍感動して、世の中の見方が変わった」。黒人が公然と差別を受けていた時代に同胞である黒人社会からも「アंकル・トム」とやゆされていたサッチモが、66歳で心臓病を患ったときに作ったのが『What a Wonderful World』でした。歌詞をご存じない方はネット検索してみてください。背景を知ること「好き」が深まり、新しい視点でこの世界を見ることができるよう。これは素晴らしい経験だと思います。「これを知る者はこれを好む者に如（し）かず。これを好む者はこれを楽しむ者に如かず」。論語の有名な一節で「知識を持っているだけの人は、それを心から好きな人にはかなわない。そして、それを好きなだけの人も、それを心から楽しんでいる人にはかなわない」という意味です。つまり、何かを「知っている」だけでなく、それを「好き」になり「楽しむ」境地に達することで、より深く本質を理解し、生かせるようになるという教えです。学びや物事への取り組み方の重要な心構えですが、商売においても参考になる考え方だと痛感しました。良いこともそうでないことも区別なく、目の前のことをただひたすら楽しもうとすると、この世界も商売も素晴らしいものになるのでしょうか。



トナりの本棚

【架空犯】

著作累計発行部数が1億部を突破した東野圭吾の新作ミステリー。複雑怪奇な人間模様を丁寧にひも解いていくので最後まで一気に読みたくなる一冊です。



船越税理士法人

〒620-0054

京都府福知山市末広町 1-1-1 中川ビル 3 階

TEL: 0773-22-3708 FAX: 0773-22-7343

<http://www.f-office301.com>

E-mail: info@f-office301.com

皆様のご感想をお待ちしております◎◎◎◎◎◎